

知的障害のある人に必要な 支援機器と環境整備

野澤 和弘

一般社団法人 スローコミュニケーション

植草学園大 副学長（教授）

障害者数

- | | 2006年 | → | 2023年 | |
|--------|-------|---|-------|-----------|
| • 身体障害 | 351万人 | → | 436万人 | |
| • 知的障害 | 45万人 | → | 109万人 | |
| • 精神障害 | 258万人 | → | 614万人 | (障害者白書より) |
- 「医学モデル」→「社会モデル」 社会のバリアが多いと障害者は増える
 - 知的障害者福祉法には「知的障害」の定義がない。DSMからIQ値が外される。
 - 発達障害の急増。8・8%（通常学級）+特別支援学校・学級

法律の障害定義

- 知的障害者福祉法 定義なし
- 精神障害者福祉法 統合失調症、精神作用物質による急性中毒又はその依存症、知的障害、精神病質その他の精神疾患
- 発達障害者支援法 自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現する
- 障害者基本法（改正） 身体障害、知的障害、精神障害（発達障害を含む）その他の心身の機能の障害がある者であって、障害及び社会的障壁（障害がある者にとって障壁となるような事物・制度・慣行・観念その他一切のもの）により継続的に日常生活、社会生活に相当な制限を受ける状態

知的障害

論理的思考、問題解決、計画、抽象的思考、判断、学校や経験での学習のように全般的な精神機能の支障によって特徴づけられる。

①知能検査によって確かめられる知的機能の欠陥

②適応機能の明らかな欠陥

③発達期（おおむね18歳まで）に生じる――と定義されるもの。

中枢神経系の機能に影響を与える様々な病態で生じうるので「疾患群」とも言える。

発症率は一般人口の約1%

男女比は1.6:1（軽度）～1.2:1（重度）

知能検査ではIQ70未満。だが、知能指数の値だけで知的障害の有無を判断することは避けて、適応機能を総合的に評価し判断する。

適応機能とは、日常生活でその人に期待される要求に対していかに効率よく適切に対処し、自立しているのかを表す機能のこと。食事の準備・対人関係・お金の管理、被害にあわないなど。社会生活を営むために重要な要素となるもの。

※小学校のカリキュラムに英語、プログラミングなどが入り、難しくなる。境界域の子どもたちが授業についていけなくなる。



療育手帳

都道府県・指定都市が交付。窓口は市町村、管轄の児童相談所、更生相談所・障害者センター。医師・心理士が面談。

日常生活の適応機能は3つの領域で示す。日常生活・学校・職場など多方面における機能状態の困難さ、支援の必要性を評価した上で判断する。

①概念的領域

記憶、言語、読字、書字、数学的思考、実用的な知識の習得、問題解決、および新規場面における判断においての能力についての領域

②社会的領域

特に他者の思考・感情・および体験を認識すること、共感、対人的コミュニケーション技能、友情関係を築く能力、および社会的な判断についての領域

③実用的領域

特にセルフケア、仕事の責任、金銭管理、娯楽、行動の自己管理、および学校と仕事の課題の調整といった実生活での学習および自己管理についての領域

発達障害

生まれつきみられる脳の働き方の違いにより、幼児から行動面や情緒面に特徴がある。本人や家族・周囲の人が特性に応じた日常生活や学校・職場での過ごし方を工夫することで、持っている力を活かし、日常生活の困難を軽減させることができる。

◆自閉スペクトラム症（ASD、高機能自閉症＋アスペルガー症候群）

言葉や視線、表情、身振りなどでやりとり、自分の気持ちを伝える、相手の気持ちを読み取ることが苦手。特定のことに強い関心を持つ、こだわりが強い。感覚の過敏も。

◆注意欠如・多動症(ADHD)

落ち着きがない、待てない（多動性-衝動性）、注意が持続しにくい、作業にミスが多い（不注意）。多動性－衝動性と不注意の両方が認められる場合も、いずれか一方が認められる場合もある。

◆学習障害(LD)

全般的な知的発達には問題がないのに、読む、書く、計算するなど特定の学習のみ困難。

◆チック・トゥレット症候群、吃音

「発達障害 8 ・ 8 %」

2022年、全国の公立の小中学校と高校**1600**校余りの**7万4919**人について担任などが回答。読み書きや計算など学習面の困難さや、不注意や対人関係を築きにくいといった行動面の困難さがあるなど、発達障害の可能性がある児童生徒は小中学校の通常学級に**8.8%**、**11**人に**1**人程度在籍していると推計される。

調査方法などは一部変わっているものの、前回**10**年前の調査の**6.5%**から増加。
今回初めて調査した高校では推計で**2.2%**。

学校の「校内委員会」で特別な支援が必要と判断されたのは**28.7%**

自閉症スペクトラム症の特徴

①心の理論（Theory of Mind）

他者の意図・信念などを読み解く能力であり、ここに障害があると、相手の気持ちや考えを理解することが難しく、他者と適切な関係を築けない、維持できないという困難が生じる。自分の気持ちにもうまく気づけないという特徴がある。

②中枢性統合（Theory of Central Coherence）

細部を統合し全体を考慮して、物事を理解する能力のこと。自閉症の方は中枢性統合の能力が弱く、部分にフォーカスし、全体を理解することが難しい。

③実行機能（Executive Function）

意思決定をする能力、企画して実行する能力、効果的に行動する能力などの総称。自閉症の方は、実行機能の障害があるため、指示されなければ実行できなかったり、自発性が低く指示待ちになることが多くある。企画ができず実行もできなかったり、言いつばなしで言ったことが実行できなかったりする。メタ認知（自らの考えを客観的に捉えること）の能力が高くないので、自分の誤りに気がつくことが難しく、気がついて修正困難で、それが二次的な対人関係の問題に繋がる。

なぜ、コミュニケーション？

- 日本に在留する外国人は322万4000人で、半年間で14万9000人増え、過去最多となった（2023年6月）
- 東京都はいずれ10人に1人が外国人になる。多国籍都市
- 難しい概念が苦手、低学力、発達障害・知的障害の人、認知症の人が増えている
- 知的、発達障害の人が社会で働き、活動することを軸とした政策展開
- 多様性のある社会に向かって、やさしい日本語のコミュニケーションの開発と普及が必要
- なのに、日本語は難解……「関係性」と「文脈」に依存する特徴。
省略と逆接にコミュニケーションの妙、日本語特有のhigh contextがある



コミュニケーションの、土台に

▶いつでも、どこでも、
 知りたい情報が
 手にはいるようになりました。
 でも、あなたはどれだけ
 理解できているでしょうか。

▶知的な障害のある人たちも
 地域で暮らし、
 いろいろな人たちと関わりながら、
 仕事や社会的な活動をする時代。
 世の中で起きていることや
 社会のルールを知ると、
 もっとチャンスや出会いの
 機会が広がります。

▶私たちは、
 わかりやすさを研究し、
 わかりやすい

コミュニケーションを
 広めていきたいと思っています。

① 国内外の政治・社会・
 スポーツなどのニュースを
 わかりやすくして紹介します。

② 支援者や先生や家族のために
 「わかりやすさ」の
 研修を開きます。

③ 行政や会社の文書を
 わかりやすくする
 お手伝いをします。

▶自分に都合の悪いことは
 「フェイク（うそ）！」と叫び、
 意見の合わない人を
 敵と決めつけて攻撃する。
 そんなシーンを

よく見るようになりました。
 相手のことを
 よく知ろうとしないと
 コミュニケーションは
 成り立ちません。

▶スローコミュニケーションが
 めざしているものは、
 多様な価値観を
 認めあう社会でもあります。
 《わかりやすい文章
 わかちあう文化》
 それが私たちのモットーです。

スローコミュニケーション代表
 野澤和弘

（代表）野澤和弘、羽山慎介（元名古屋大大学院講師）、打浪文子（淑徳大准教授）、早稲田大学社会保障ゼミOB・OGなど。

▼わかりやすいニュース（写真・音声ガイド）を毎週ネットで配信

▼わかりやすさの研究と普及

▼厚生労働省、文部科学省、横浜市などから文書作成・監修を受託

▼わかりやすさセミナー

▼会報発行

SLOW わかりやすいニュース
 スローコミュニケーション



国内



海外



障害



解説

やさしい日本語の基本ルール

- 長い文章はダメ
- 複合文はダメ
- 難しい漢字はダメ
- ひらがなだけでもダメ
- 二重否定はダメ
- 比喩はダメ
- 抽象的なことば、専門用語はダメ
- 省略はダメ

長い文・複合文

本件各文書は原告が本件条例に基づき開示請求しているものであり、本件一部非開示決定については争訟が提起されることが予想されたのであるから.....本件においては、右にみたとおり、本件各文書は既に廃棄されて現存しておらず、したがって、仮に本件訴訟において本件各一部非開示が取り消されたとしても被告らが本件各文書を開示することは不可能であるから、原告において本件各一部非開示の取り消しを求める法律上の利益はないといわざるを得ない。

(情報開示訴訟の判決文)

専門用語・難解な言葉

デフレ脱却のため規制緩和で成長戦略を図るのが安倍政権のアジェンダである。

二重否定

もう恋なんてしないなんて言わないよ絶対

比喩

まだ青い奴らの黄色い歓声を浴びていると、玉虫色の結論ではないかと思えてきた。やっぱり白黒はっきりさせようじゃないか。

- ・ 青い ……若い、未熟
- ・ 黄色い歓声 ……かん高い声
- ・ 玉虫色 ……いろいろな色に見える、どのようにも解釈できる
- ・ 白黒 ……良いか悪いか、強いかわいいか、はっきりさせる

省略

甘く入ったスライダーを大谷が右へ運んだ。

- ・ 何が甘く入ったのか ピッチャーが投げたボール
- ・ 甘いとはなにか バッターにとって打ちやすいコース（比喻）
- ・ スライダーとは ピッチャーが投げる変化球のひとつ
- ・ 大谷は何を運んだのか ボール（「運ぶ」は比喻）
- ・ 右へ運ぶとは 右翼（ライト）へホームランを打つ

共通認識

スポーツが好きな人は、わざわざ言わなくてもわかること（ボール）は省略する方がスムーズに速く情報伝達ができる

習慣的に新聞やテレビでニュースを見る人には、そのニュースの前提は背景をわざわざ説明しなくてもわかる（と思っている）

同じ時代に・同じ国で・同じ内容の公教育を受けてきた私たちには、無意識のうちに「共通認識」が植えつけられている

共通認識は集団的な先入観につながる

知的障害・自閉症の世界

知的障害や自閉症の人には、私たちが「当たり前」と思っている共通認識がなかったり違ったりする人がいる

その人のことを理解するためには、その人が何を理解しているかを、まず私たちが理解しなければならない

理解できなくても、違いを自覚することが、理解を促すことにつながる

世にあふれる難しい文章

- 新聞記事、法律、判決文、政治家や官僚の国会答弁
- 取り扱い説明書、医薬品の使用上の注意、保険約款
- 看護師・介護福祉士試験の問題、運転免許試験の問題

<わかりにくさの本質> = 専門性・難解さの鎧

- よくわからずに書いている
- どうせわからないだろうと思い込んでいる
- 本当は知られたくないことがある？
- 相手のことを知らない、知ろうとしない
- 排除したい（仲間内だけで通じるコミュニケーション）

知的障害の人のコミュニケーション

- 抽象的な概念、専門用語、あいまいな言い回し 暗黙の了解、論理的な文章（話）、複雑な構文、凝縮した文章……苦手

< 必要な配慮 >

- 話すスピード、話題が変わる際の「間」
- のりしろ
- 本当に必要なことだけシンプルに伝える
- 安心、信頼のある関係性